

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31-109	中学校	外国語	英語	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
9 開隆堂	英語 802	SUNSHINE ENGLISH COURSE 2		

1. 編修の基本方針

教育基本法、学校教育法を精神を教材の中で具体化するとともに、学習指導要領に示された目標と内容に沿って、外国語を使って豊かなコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を養うことを目指し、以下の基本方針を設定しました。

自ら考え、行動し、目標に向かって主体的に学習が進められる教科書

小学校での外国語（英語）の基礎の上に立って、いっそうコミュニケーション能力を伸ばすために、「話すこと」を軸にして4技能5領域の能力を総合的に扱い、統合的に活用して思考力、判断力、表現力を育成する構成です。また、我が国と諸外国の伝統や文化を尊重する態度を育成します。

1

生きたコミュニケーション能力が身につき、自己肯定感を育みます。

1. 身の回りの場面から社会的な場面まで、自分のことばとして英語を使う力がつきます。
2. 「何のために」「だれに向けて」を意識したコミュニケーション活動が実現できます。
3. 即興でコミュニケーションできる能力を育みます。



●主人公
古瀬 真央

2

確かな学力が身につきます。

1. 学習事項について、生徒に気づきを促し、自律的学習者を育てます。
2. 3年間を見通した学習を可能にしています。
3. 知識・技能を習得し、それを活用して課題を解決する力が身につきます。

3

「地球市民」としての豊かな感性を育みます。

1. 日常生活だけでなく、環境、平和、人権、共生などの現代的課題を扱い、多様なものの見方や考え方について、生徒に思考力・判断力を促す題材を精選しました。
2. 自国の伝統と文化を尊重するとともに、他国も尊重し、国際社会に寄与する意識を育てる題材を配置しています。

1

生きたコミュニケーション能力が身につき、自己肯定感を育みます。

1. 身の回りの場面から社会的な場面まで、自分のことばとして英語を使う力がつきます。

本教科書では、各学年に3か所（※3年生のみ2か所）に、統合的なパフォーマンス活動を行う Our Project を設けています。場面と内容は発達段階に応じて徐々に難易度を上げ、最終的には社会的な場面で自分のことばとして英語を使う力を育てます。

	身の回りの場面		社会的な場面
	1年生	2年生	3年生
Our Project 一覧	① 自己紹介 (あなたの知らない私) ② 他者紹介 (この人を知っていますか) ③ Show & Tell (私が選んだ1枚)	④ グループプレゼンテーション (「夢の旅行」を企画しよう) ⑤ ポスター発表 (こんな人になりたい) ⑥ 自己PR (この1年で得た「宝もの」)	⑦ 記者会見 (記者会見を開こう) ⑧ 外国の人に地元のをPR (あなたの町を世界にPRしよう)



2. 「何のために」「だれに向けて」を意識したコミュニケーション活動が実現できます。

活動には場面性をもたせ、ペアやグループで行う活動を数多く設定することで、目的と相手を意識したコミュニケーション活動が行えるように配慮しています。

3 次の①～③のとき、ペアで背中合わせになって電話のやりとりをしましょう。

- ① 陽治がジュディーに電話 → ジュディーが出る → 陽治は宿題を手伝ってほしいと伝える
- ② マットが果歩に電話 → 果歩の母親が出る → 果歩に代わる → マットはサイクリングに誘う
- ③ ジュディーがマットに電話 → 知らない人が出る(間違い電話)

(p.27「電話をかけよう」)

3. 即興でコミュニケーションできる能力を育みます。

通常課 (PROGRAM) には、即興でのコミュニケーション活動を行う Try のコーナーを3か所ずつ設けました。これを積み上げていくことで、Our Project において書いた原稿を読み上げるのではなく、メモをもとに発表したり、友だちの発表に対して即興で質問やコメントなどの「やりとり」をする力が身につきます。



① 夏休みの思い出について話そう。



② 巻末資料③の B からトピックを1つ選び、自分の意見を言おう。

B

- 1. 和食 or 中華
- 2. 北海道 or 沖縄
- 3. うどん or そば or ラーメン
- 4. メール or 電話
- 5. テレビ or インターネット
- 6. 都会 or 郊外 living in the city [country]

(後見返し)

(p.51, 53)

2

確かな学力が身につきます。

1. 学習事項について、生徒に気づきを促し、自律的学習者を育てます。

新出表現の導入は2コマのマンガ形式で示すことにより、文字が読めなくても、イラストや音声を頼りに内容を推測できるように配慮しました。また、基本的には文法シラバスで構成されていますが、Tryのコーナー（p.2参照）には小学校英語で学んだ表現をどんどん使う機会を設け、スパイラルな学習ができるように配慮しました。

2 人やものの様子や状態について言えるようになろう。 **QR**

(p.60 PROGRAM 5)

2. 3年間を見通した学習を可能にしています。

4技能5領域別にまとめた「できるようになったことリスト」を巻末に掲載し、自分が身につけたことの軌跡がわかるように、年間4回チェックできる欄を設けました。また、教科書との関連箇所も示しているため、定着が弱いと感じたものについても復習しやすくなっています。

Listen 聞くこと

できるようになったこと	おもな関連箇所			4月	9月	12月	3月
	1年	2年	3年	日	日	日	日
1 アルファベットを聞いて、どの文字かわかる。	GR						
2 日常生活で身近な単語を聞いて、その意味を理解できる。	GR WW	WW	WW				

(p.156 できるようになったことリストの「聞くこと」の一例)

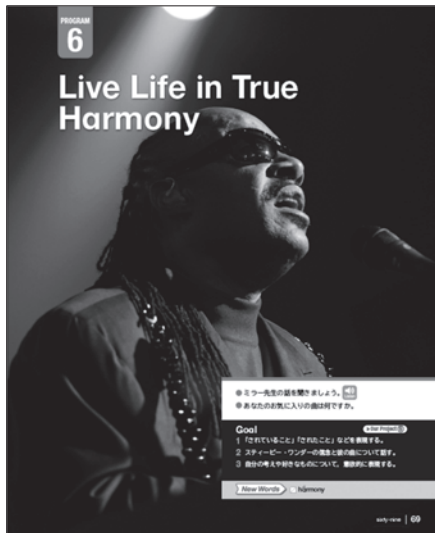
3. 知識・技能を習得し、それを活用して課題を解決する力が身につきます。

基礎・基本のうえに、実際のコミュニケーションをする能力をつけます。本教科書の Our Project をはじめ、Power-Up、通常課の Interact のコーナーでは、「伝え合う能力」、「話し合える能力」、「発表・討論・交渉などを行う能力」を段階的に身につけられるような活動を数多く設定しています。

3

「地球市民」としての豊かな感性を育みます。

1. 日常生活だけでなく、環境、平和、人権、共生などの現代的課題を扱い、多様なものの見方や考え方について、生徒に思考力・判断力を促す題材を精選しました。

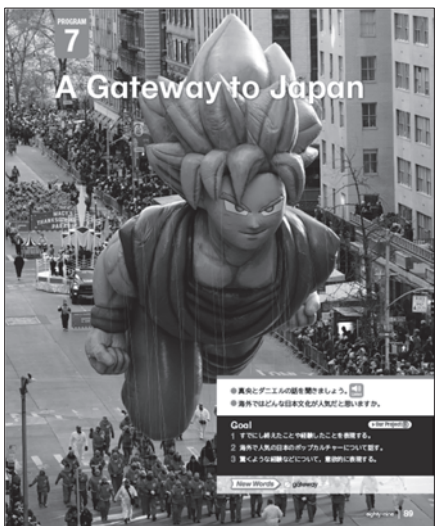


(p.69, 72-73)



ステヴィー・ワンダーの楽曲とキング牧師、ネルソン・マンデラとの関係について扱いました。人権や正義について考えます。

2. 自国の伝統と文化を尊重するとともに、他国も尊重し、国際社会に寄与する意識を育てる題材を配置しています。



(p.89, 92-93)



現代日本のポップカルチャーであるマンガやアニメが世界に与えている影響と、かつての日本のポップカルチャーであった浮世絵がゴッホやモネといった絵画の巨匠に与えた影響について扱いました。

☞ その他の題材については、p.5 参照

2. 対照表

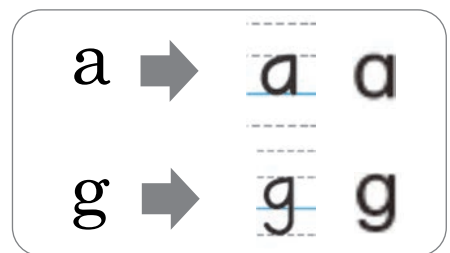
※ Prog...PROGRAM OP...Our Project

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
Prog. 1	Start of a New School Year	登場人物たちのやりとりやメール文を読んで心情を考えたりするなかで、豊かな情操と道徳心を培います（第1号）。	pp.7-15
Prog. 2	Leave Only Footprints	カナダの国立公園のルールやそこに住む生物について学び、環境を守ることの重要性を知ること、環境保全の態度を養います（第4号）。	pp.17-25
Prog. 3	Taste of Culture	世界各国の屋台の文化を知ること、他国の文化を尊重し、国際社会に生きる一員としての自覚をもちます（第5号）。	pp.29-37
OP 4	「夢の旅行」を企画しよう	「夢の旅行」を企画して、グループで発表することで、創造性を培い、個人の価値を尊重する精神を養います（第2号）。	pp.39-43
Reading 1	Gon, the Little Fox	物語『ごんぎつね』を英語で読み、登場人物の心情を想像するなどして、豊かな情操と道徳心を培います（第1号）。	pp.44-47
Prog. 4	High-Tech Nature	自然を利用して開発された技術について学ぶことで、自然を大切にし、真理を追い求める態度を養います（第1, 4号）。	pp.49-57
Prog. 5	Work Experience	職場体験での経験について学習することで、勤労を重んずる態度を養うことができます（第2号）。	pp.59-67
Prog. 6	Live Life in True Harmony	スティービー・ワンダーの楽曲とキング牧師、ネルソン・マンデラとの関係について学び、人権と正義について考えます（第3号）。	pp.69-77
OP 5	こんな人になりたい	偉人について情報をまとめ、ポスターにまとめて友だちと読み合うことで、他人と協力して発表会を作り上げます（第3号）。	pp.79-83
Reading 2	Friendship beyond Time and Borders	トルコと日本の友情の物語を読むことを通して、国際社会を協力的に発展させていく意識を育てます（第5号）。	pp.84-87
Prog. 7	A Gateway to Japan	日本のポップカルチャーが歴史的にも現在でも海外で人気なことを学ぶことで、自国の文化を愛し、国際社会の発展に寄与する態度を養います（第5号）。	pp.89-96
Prog. 8	A Hope for Lasting Peace	広島に送られる折り鶴とその再生について知ること、平和と正義を求め、主体的に社会の形成に参画するきっかけとなります（第3号）。	pp.99-109
OP 6	この1年で得た「宝もの」	一年間を振り返って発表することを通して、自他を敬愛する態度を養い、よりよいクラス形成を目指すことができます（第3号）。	pp.113-117
Reading 3	Visas of Hope	ユダヤ人のためにビザを発行し続けた杉原千畝について読み、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います（第5号）。	pp.120-124

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. すべての生徒が学習しやすい紙面づくり

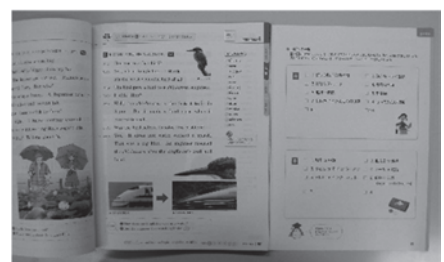
カラーユニバーサルデザイン、特別支援の観点でも十分な配慮をしました。識別しづらい色遣いは避ける、文字を極力大きくする、手書き文字に近いフォントを2種類開発するなど、すべての生徒が無理なく学びやすい紙面づくりを目指しました。



2. 造本・体裁など

造本は丁寧に堅牢です。また、環境に配慮した用紙やインキを使用しています。

巻末資料の「Tryのまとめ」のトピック一覧は、いつでも参照できるように折り込み式の体裁とし（右記参照）、活動に使う「アクションカード」は切り取り用のミシン目を施しました。



編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31-109	中学校	外国語	英語	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
9 開隆堂	英語 802	SUNSHINE ENGLISH COURSE 2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

習得した**知識・技能**を活用して、

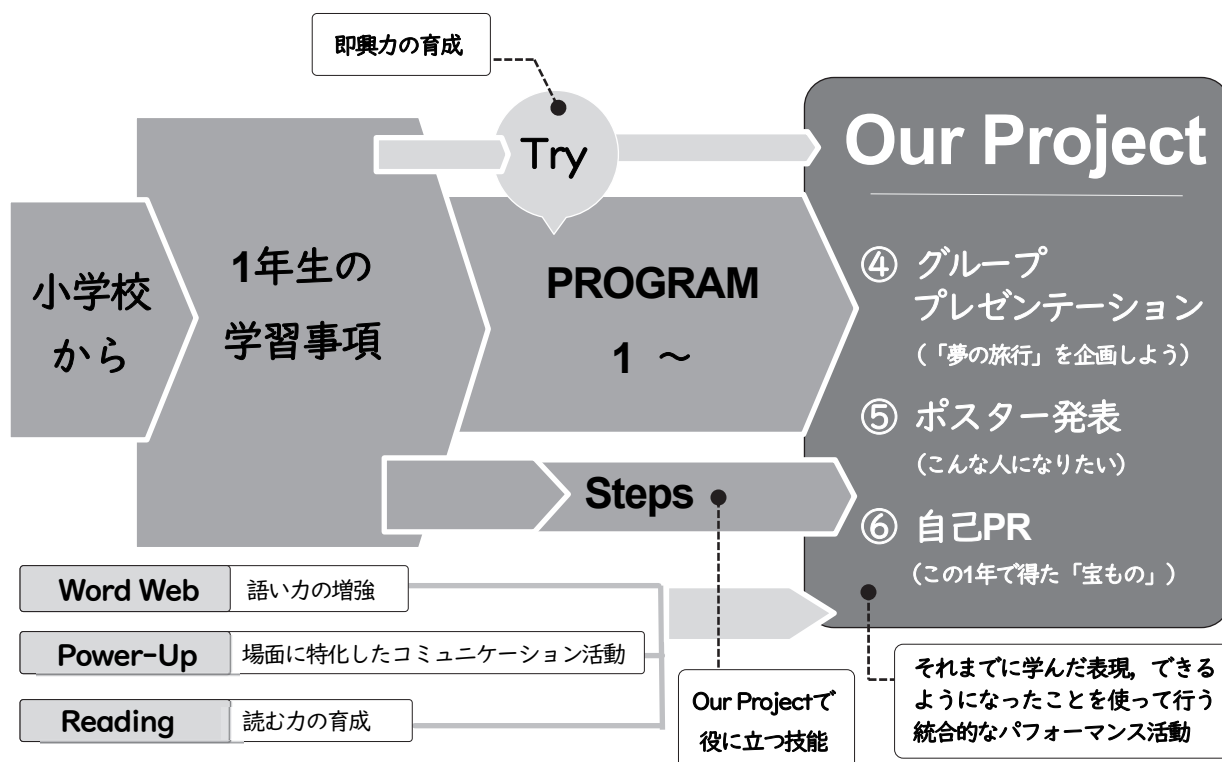
自ら**思考・判断・表現**することで、

学びに向かう力と

豊かな**人間性**を育てる教科書です。




全体の構成 ▶ Our Projectを軸として、目標に向かって主体的に学習が進められる構成です。




Our Project 4技能5領域を統合的に活用し、「コミュニケーションできる」喜びを実感できます。

習得した**知識・技能**を使って、自ら原稿を考え（**思考力**）、内容を取捨選択する判断をし（**判断力**）、自己表現（**表現力**）することで自信をつけます。


モデルの理解・分析 → 構想を練る・メモの作成 → リハーサル・原稿の修正 → 本番と振り返り




「聞く」を通して、モデルを理解・分析します。




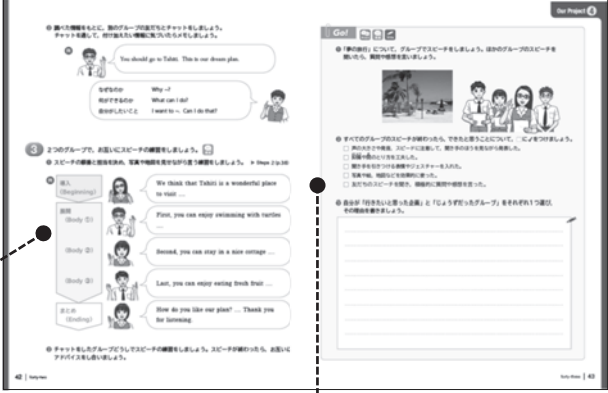
「やりとり」を通して、構想を練ります。



「発表」を通して、原稿を洗練します。



「発表」し、質問やコメントなど**「やりとり」**し、振り返ります。

(p.40-43 Our Project 4)

文章の構成など、Our Projectで役に立つ技能は事前にStepsのコーナー（下記参照）で学習します。



2年生では、1年生よりも範囲を広げた場面設定と即興性を重視した発表にしています。

Go!

聞き手をひきつける話し方を促すとともに、友だちの発表を聞き、質問したりするなど、**Good Listenerのポイント**も記載しました。

最後には「**自分の発表や、友だちの発表から学んだことを振り返る活動**」を設け、真の**協働学習**ができるように配慮しました。

Steps コミュニケーションに役立つ知的生産の技術を会得します。

文章の構成、**会話のつなげ方**、**説明の順序**など、Our Projectに**連動**した内容を学習します。Our Projectの活動にスムーズに取り組める力をつけることができます。

1 ボブがロンドンについてスピーチをするために、メモを作りました。文章の流れに沿って並べかえましょう。

() → () → () → () → ()

a First, I want to see Big Ben. It's a tall clock tower.

b I want to go to London. I have two reasons.

c I'm going to talk about my dream trip.

d I think I can learn a lot in London. Thank you.

e Second, I want to visit the British Museum. We can see many old things there.

2 1で並べかえたa~eを、次の流れに沿って分類しましょう。

導入 (Beginning)

- まず、話題を紹介する。
- 聞き手をひきつける。

展開 (Body)

- 自分が述べたいことを言う。
- 理由を順番に述べる。

まとめ (Ending)

- 内容をまとめる。
- 趣向やかな気持ちを言う。

- ① 「スピーチ原稿のメモを並べかえる」
- ↓
- ② 「その順番にした理由をペアで話し合う」
- ↓
- ③ 「文章の構成に分類」

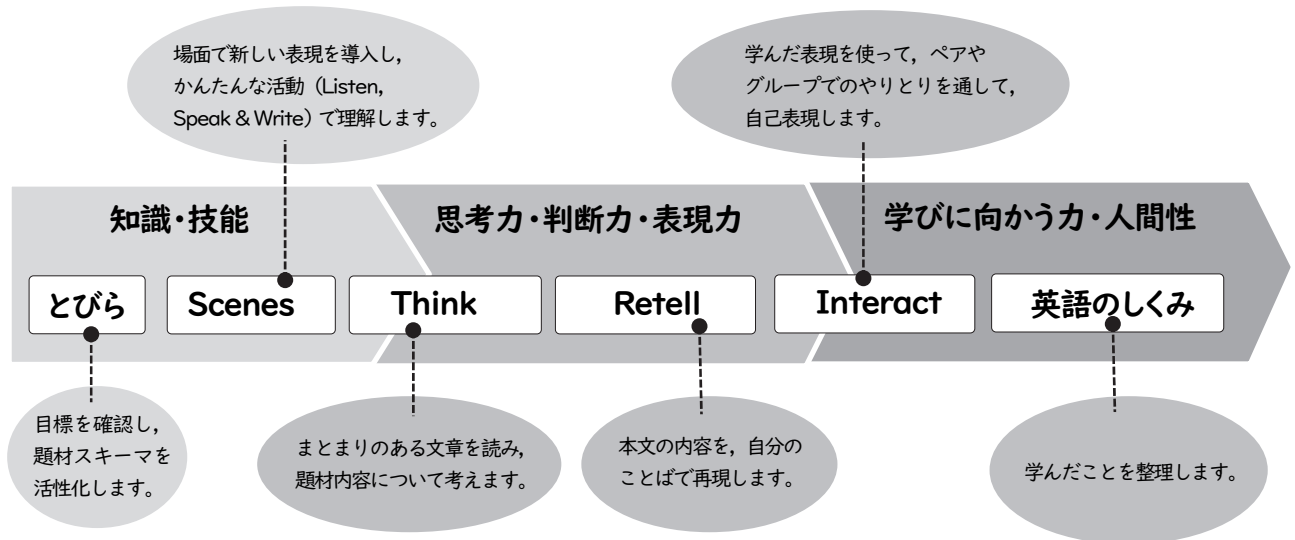
のスムーズステップで、まとまりのある文章の構成の仕方について、丁寧に扱っています。



(p.38 Steps 2「文章の構成を考えよう」より)

PROGRAM

新学習指導要領の3つの柱の可視化を図り、基礎学力を向上させます。



各コーナーの工夫

とびら

新学習指導要領の3つの観点に沿ったGoalを設定しました。各Goalに対応するScenes, Think, Retell, Interactのページにチェック欄を設け、「何が身についたか」を自己評価できるようにしました。

- Scenes ● Think, Retell ● Interact
- Goal 1 Goal 2 Goal 3

- ダニエルと真央の話を読みましよう。
- あなたはどんな仕事に興味がありますか。

Goal

- ▶ Our Project 5
- 1 何かの仕方や人やものの様子などを表現する。
 - 2 職場体験や働くことの大切さについて話す。
 - 3 場面を想定したスキット活動に、意欲的に取り組む。

(p.59 PROGRAM 5)

Scenes

新出表現の導入は、目標文を示し、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」を明確にしました。また、マンガ形式で示すことにより、どんな場面で使われる表現かが一目でわかるようにしました。



(p.18 PROGRAM 2)

Think

Q&Aでは、本文の内容から推測して答える推量発問を適宜設けました（下記参照）。また、本文の最終セクションには、Share（右記参照）を設け、2種類のオープンクエスチョンを設けました。生徒に「多様なものの見方」を働かせることを促し、「深い学び」を支援します。

Q&A

- 1 Why did Mao speak to the old man?
- 2 Did the old man enjoy talking with Mao? ?

(p.63 PROGRAM 5)

Share

- 1 ダニエルたちが職場体験で学んだことは何でしょうか。
- 2 仕事をするうえで大切なことは何でしょうか。

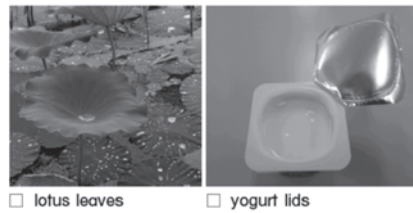
(p.64 PROGRAM 5)

Retell

「自分で言える内容を選んで話す」活動に設定していますので、友だちの発表を聞いて、「こんなことも言うことができた」「こんなふうに表現すればよかったのか」という気づきを促し、**自律的学習者**を育てます。

また、前半の課と後半の課で、2段階の難易度を設定しました。

- ① 本文を通してもう一度音読し、内容を確認しましょう。
- ② 写真や語句の中から話せそうなものを選び、本文の内容をペアの相手に伝えましょう。付け加えたい語句があれば、◆の右にメモしましょう。



□ lotus leaves □ yogurt lids

- raindrops
- a Japanese company
- effect
- ◆
- ◆
- ◆

(p.55 PROGRAM 4)

Interact

その言語材料を使う自然な場面を設定し、ペアやグループで**即興的なやりとり**ができるように配慮しました。

また、「自分の意見は理由をつけて話す」ことを促し、**主体的かつ対話的な学び**ができるように配慮しました。

1 Our School Trip

修学旅行の自由行動では、どこに行ってみたいと思いますか。理由も入れて、自分の考えを言きましょう。

例 修学旅行先が京都だった場合

- A: I think we should visit Arashiyama.
There is a famous bridge in Arashiyama.
It's beautiful and it has a long history.
- B: I like your idea, but we should visit Uji.
We can enjoy *matcha*.



▲ 渡月橋



(p.24 PROGRAM 2)

Reading

心に訴える題材と、読解をサポートする設問で「読む」力を育成します。

(p.84)

1st Stage (Pre-Reading),
2nd Stage (While-Reading),
3rd Stage (Post-Reading) と
3段階の問いを設置しました。

2nd Stageには、読み進めるためのサポートとなるような問いを設けると同時に、生徒の思考力を育てるような問いも設けました。

1st Stage

- 1 タイトルからどんな話が想像してみましょう。
- 2 この写真はどこで撮られたものでしょうか。

(p.84)

1st Stage

Pre-Readingとしての
質問で題材への興味
をもたせます。

2nd Stage

- 1985年3月、イランの首都テヘランが攻撃され、民間人は爆撃の恐怖にさらされることになりました。
- イラクの大統領が声明を出したのは、3月17日のことでした。

Check

their people(/.5)とはどう
いう意味でしょうか。

Guess

なぜ村人たちには食料があまり
なかったのでしょうか。

Share

our borders(/.11)には、ど
のようなものが考えられるで
しょうか。

(p.84, 85, 86)

読み進めるのに役に
立つ背景情報を随所
に記載しました。

2nd Stage

3種類の問いで、読解
をサポートします。

Check

代名詞や多義語など
を確認。

Guess

心情、行間を読みとる
推量発問。

Share

自分の意見を述べる
オープニングエスジョン。

3rd Stage

3. 国と国の友好関係を築くためには、何が大事だと思いますか。
ペアやグループで話し合い、自分の考えを50語程度で書きましょう。

(p.87)

3rd Stage

要約文の完成や
本文全体について
考えさせる問いで
読みを深めます。

2. 対照表

※ Prog…PROGRAM OP…Our Project PU…Power-Up WW…Word Web

図書の構成・内容		主な言語材料など	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
辞書を読みましょう		辞書の使い方	3(2) オ	p.6	1
Prog. 1	Start of a New School Year	I'm going to ～. I will ～./ When, If の文	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	p.7-15	8
Prog. 2	Leave Only Footprints	I think (that) ～./ must, have to の文	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	p.17-25	8
Prog. 3	Taste of Culture	動名詞, 不定詞 (3用法)	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①ア・イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	p.29-37	8
Steps 1, 2	情報をつなげ, メモをとろう 文章の構成を考えよう	情報整理の仕方, 文章の組み立て方の 学習	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①イ・ウ・エ・カ ②イ, 3(1)(2)(3)	p.16, 38	各1
OP 4	「夢の旅」を企画しよう	グループプレゼンテーション	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①イ・エ・オ・カ ②ア・イ, 3(1)(2)(3)	p.39-43	4
Reading 1	Gon, the Little fox	物語「ごんぎつね」	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①ウ・カ, 3(1)(2)(3)	p.44-47	4
Prog. 4	High-Tech Nature	比較級, 最上級, 原級	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	p.49-57	8
Prog. 5	Work Experience	how to do / look + 形容詞 / I'll show you～.	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	p.59-67	8
Prog. 6	Live Life in True Harmony	受け身	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	p.69-77	8
Steps 3	会話をつなげ, 深めよう	即興力の養成	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①エ ②イ, 3(1)(2)(3)	p.78	1
OP 5	こんな人になりたい	ポスター発表	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①イ・ウ・エ・カ ②ア・イ, 3(1)(2)(3)	p.79-83	4
Reading 2	Friendship beyond Time and Borders	エルトゥールル号が結んだ トルコと日本の友情	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①ウ・カ, 3(1)(2)(3)	p.84-87	4
Prog. 7	A Gateway to Japan	現在完了 (完了, 経験)	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	p.89-96	8
Prog. 8	A Hope for Lasting Peace	現在完了 (継続) / 現在完了進行形	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①イ・ウ・エ・オ・カ, 3(1)(2)(3)	p.99-109	7
Steps 4, 5	相手にわかりやすい説明を しよう 説得力のある主張をしよう	情報整理の仕方, 文章の組み立て方の 学習	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①エ ②イ, 3(1)(2)(3)	p.97, 110, 111	各1
OP 6	この1年で得た「宝もの」	自己PR	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①イ・エ・オ・カ ②ア・イ, 3(1)(2)(3)	p.113-117	4
Reading 3	Visas of Hope	杉原千畝の生涯	2(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ (3) ①ウ・カ, 3(1)(2)(3)	p.120-124	4
PU 1~5	天気予報を聞こう/電話をか けよう/レストランで食事を しよう 他	電話や食事などの特有の場面での やりとりの学習	2(1)ア・イ・ウ・エ (3)①イ・ウ・エ・ カ ②ア, 3(1)(2)(3)	p.26, 27, 68, 98, 112	各1
WW 1~5	食べもの/形容詞/楽器/前 置詞/町の風景	語いの強化	2(1)ア・イ・ウ・エ (3)①エ, 3(1)(2)(3)	p.28, 48, 58, 88, 118, 119	各1

計 103 (時間)